

最もやさしい日本語で“賞”！

課題文を「やさしい日本語」に直して、文のわかりやすさを競います。5月号の課題には2名の応募がありました。

＜課題文＞ご家庭へのお願いです。一斉臨時休業の期間は、可能な限り学校生活に準じた生活を送るようご指導ください。また、不要不急の外出を避け、免疫力を高め、十分な睡眠と適度な運動、バランスのいい食事が摂れるよう配慮してください。

審査は、日本語学習歴が比較的長い、3名の外国出身の方にお願いしました。

ペンネーム：ジュアンさんの作品

日本に住んでいる外国の方へのお願い。ご家庭へのお願いです。コロナウイルスによって学校が休みになっている間は、お子さんは、学校に行っている時と同じように過ごして下さい。いつものように、早く寝て早く起き、朝食をしっかりとりましょう。午前中に学習や読書をして過ごしましょう。また、日常生活を送るのに必要な外出以外はしないようにしましょう。他の人との接触はできるだけしないようにし、休養や睡眠をたっぷりととり、病気に負けない体をつくりましょう。また、軽く体を動かす時間も作りましょう。また、食事は、肉・魚・野菜などバランスを考えてとることが大切です。家族の命を守るためにこれらのことに気をつけ、声をかけ合っていきましょう。(原文は漢字にふりがなつき。)

ペンネーム：horiさんの作品

かぞくのみなさんへ。みんなのしごとが休みのときは、できるだけがっこうと同じようなスケジュールでせいかつしてください。そして、だいじでもいそぎでもないときのお出かけはしないようにして、からだをつよくして、じゅうぶんにねる・うんどう・バランスがよいいしょくじをするようにしてください。

ジュアンさんの文です。課題文の要求にあっているし、情報を詳しく教えてくれています。



ベトナム出身のディン ティ ホン ハンさん

horiさんの文です。難しい単語が少なく理解しやすいし、文が短くて見やすく、まっすぐだからです。



ナイジェリア出身のヤコブ マハムドさん

horiさんの文です。短くて記憶に残りやすいし、漢字が少なく読みやすく、内容の意味を理解しやすいです。



チリ出身のフラビア バラッタさん

ジャジャジャー♪ 今回の「最もやさしい日本語で“賞”」は、2人の審査員が選んだペンネームhoriさんの作品です。horiさんにはリオンドールの商品券をお送りします。(ジュアンさんには記念品を差し上げます。)

今回の審査員の方々による結果はこうなりましたが、別の方が審査員なら結果は違うかもしれません。“やさしい日本語”は、相手がどのような知識や文化背景を持っているか、どの程度日本語ができるかによって変わってくるようです。(漢字圏出身者からは、漢字が多い方が理解しやすいと聞きました。)ジュアンさんは外国出身の家族を思い浮かべて書いたそうです。丁寧に説明しようという思いが伝わってきます。一番大事なのは、伝えたい相手を意識して書くことなのかもしれません。

外国人に伝えるなら英語というイメージがありますが、全ての外国の方が英語を話すわけではありません。簡単な日本語であれば理解できるという人は多く、ぜひ「やさしい日本語」を使ってみてください！

協会 6月の休館日

1日(月)、 7日(日)、 8日(月)
15日(月)、 21日(日)、 22日(月)
29日(月)

お手伝いお願いします

協会情報紙の発送作業のボランティアです。
当日直接、当協会事務所へお越しください。
日時 6月27日(土) 13:30～



会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14
レオクラブガーデンスクエア5階
TEL:0242-27-3703 FAX:0242-27-3704
Webサイト: <http://awia.jp> メール: mail@awia.jp

福島県 外国人材雇用サポートデスク

外国人材の雇用を検討する県内事業所のための相談窓口です。福島県産業振興センターが、福島県からの委託を受けて運営しています。専門知識を持つ相談員(行政書士)が、外国人材の雇用に関するご相談(職種・業種・在留資格・手続きなど)に対応します。どうぞお気軽にご利用ください。※相談は事前予約制です。

相談日時 毎週水曜日 午前10:00～12:00
※12月29日から1月3日は除く。
相談場所 コラッセふくしま2階 福島県経営支援プラザ内
(福島市三河南町1番20号)
申込み・問合せ FAX:024-525-4036
TEL:024-525-4035

※ 相談を希望する日の3営業日前(17時㍻切)までにお申込みください。できるだけ、FAX(ウェブページよりチラシをダウンロードして「相談申込書」の送信)によりお申込みください。調整が完了したら相談日時等についてのご連絡をします。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/gaikokujinzaisupport.html>



FINE



Freedom/International/Necessity/Experience



令和2年度会員総会は 書面表決で行います

日頃から、当協会の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

当協会では例年この時期に定期総会を開催しておりますが、このたび、新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から書面表決とし、記念講演会、懇親会については行わないことと致します。お手数ですが、同封の総会資料をじっくりお読みいただき、**6月20日(土)必着で、書面表決書(同封のハガキ)を協会事務局までご返送ください。**

わからない点がある方や、もっと詳しい内容を知りたい方はご連絡ください。

総会で皆様にお会いできないのが、とても残念です。昨年度の懇親会での皆様の笑顔が思い出されます。心置きなくイベントを開催できる日までもう少しの辛抱です。梅雨寒の折、くれぐれもご自愛ください。

会員総会

“もしもし日本語ほっとライン”

日本語教室がお休みで困っている外国出身の学習者のために、当協会の日本語ボランティアが、“もしもし日本語ほっとライン”チームを立ち上げました。通話アプリSkype(スカイプ)を使って、オンラインで日本語についての質問にこたえます。お申込み方法や詳しい内容は協会のfacebookを見るか、直接お問い合わせください。

期 間 5月27日(水)～6月28日(土)※月、火を除く
時 間 30分以内
対象者 当協会会員の日本語学習者(外国出身者)
※ご利用には会員登録が必要です。
ア プ リ Skype(スカイプ)
料 金 当協会会員は無料(法人会員を含む)
申込み・問合せ 当協会へ
※完全予約制です。予約希望日の2日前までに
Skype用のメールアドレスで申込んでください。

水	木	金	土	日
①10:00～10:30 ②11:00～11:30 ③13:00～13:30 ④14:00～14:30 ⑤15:00～15:30	①10:00～10:30 ②11:00～11:30	①10:00～10:30 ②11:00～11:30 ③14:00～14:30 ④15:00～15:30	①10:00～10:30 ②11:00～11:30 ③13:00～13:30 ④14:00～14:30 ⑤15:00～15:30	①10:00～10:30 ②11:00～11:30



<https://www.facebook.com/>

地球ちよい旅

体験談を聞こう！ワーキングホリデー・カナダ編

ワーキングホリデー制度(通称:ワーホリ)とは【18～30歳の青年を対象に、2ヶ国・地域間への休暇目的の入国および滞在期間中における旅行・就労を認める制度】です。ワーキングホリデーの魅力は、真っ白なキャンパスに絵を描くような自由さにある！という方もいます。今回のちよい旅は、大学卒業後にこの制度を利用して、カナダのバンクーバーとトロントに行った鈴木利佳子さんにお話を聞きます。ワーキングホリデー制度に興味のある方、カナダのお話を聞きたい方など、どなたでも自由にご参加ください。

日 時 6月20日(土)10:00～11:30
場 所 会津稽古堂3階 研修室2
内 容 ワーキングホリデー体験談
ゲスト 鈴木 利佳子さん
参加費 無料
定 員 15名 ※マスク着用をお願いします
申込み 6月19日(金)までに当協会へ



地球ちよい旅 古代中国編 ～中国語で読む漢詩の世界～

中学・高校の国語の授業で内容はお馴染みの漢詩を、中国語の音で味わってみませんか？中国語の韻律による美しい調べが、あなたを悠久の古代中国へとといざないます。

日時:7月18日(土)14:00～15:30 場所:会津稽古堂 ※詳しくは7月号FINEで！



VOL.8

もイ千度
会いたい
あの人マー ジャリ
馬 嘉利さん桜の名所、青島中山公園の
去年のにぎわい。海岸沿線歩道の景観区、五四
広場。青島のシンボルです。

5月14日

さて、6月号のFINEへの原稿を書いてみました。色々と考えて、今住んでいる青島の紹介文になってしまいました。皆さんコロナウイルスの影響を受けて、それぞれ大変な思いをしている中、敢えてコロナの話題に触れない方がいいかなと思いました。

ところで、もう6月ですね、早いものです。会津は衣替えの時期ですね…。梅雨入り前の会津が大好きです。6月になるといつも道端の紫陽花に気がとられます。今年は何の色の花が咲くかなあと想像するのが、会津にいた頃の私の通勤途中の楽しみでした。



今月の「もイ千度会いたいあの人」は、2005年4月～2017年8月まで当協会の国際交流員だった馬 嘉利さんです。会津を離れても会津を想う馬さんは、コロナウイルスで日本も大変だと知り、いても立ってもいられなかったようです。思いやりに満ちた馬さんの言葉を皆さんお伝えしたかったので、本人に許可を取り、FINEへの寄稿文にメール本文を添えてお届けします。

青島から愛をこめて！心はいつも皆さんと

ダージャホオ！青島(チンタオ)からの「こんにちほ！」
ご無沙汰しております。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。元国際交流員の馬です。

大好きな会津から離れ、現在中国の青島市に住んでおります。青島は山東省の東端、黄海に面した中国国内でも名の知られた観光港湾都市です。よく「紅瓦緑樹、碧海藍天」という言葉で青島の風情が表されます。ヨーロッパ建築の赤い瓦と緑の木々、碧い海と青い空、起伏に富んだ山々、さらに恵まれた気候など、全てが青島の特徴的な観光資源です。東方のスイスとも呼ばれています。

さて、私が気に入った3つの場所をご紹介します。1つ目は市内最大の公園「中山公園」です。敷地面積が75万㎡で、青島市で最も歴史があり、四季の花々が楽しめる総合公園です。園内には2万本の桜があり、絶好のお花見スポットです。公園で楽器を演奏をするサークルもあり、行くたびに無料の演奏会が聞かれています。日本ではなかなか体験できない規模の活気に触れることができます。

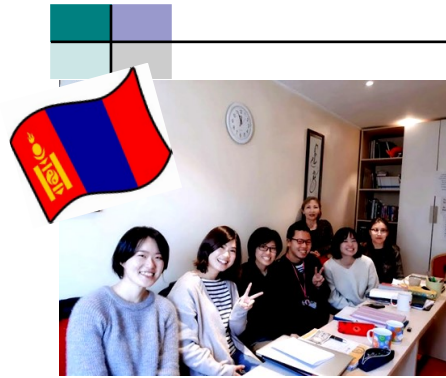
2つ目は「青島海岸歩道」です。海岸線は西から東へ長さ43kmにおよび、7つの景観区を含んでいます。歩道はユニバーサル設計で整備されており、様々な世代の方が利用しやすくなっています。青島の自然の風景と現代の景色を同時に楽しめることから、市民も観光客も賑わう人気の場所で、私の定番の散歩コースでもあります。

三つ目は博物館、それも「ビール博物館」です。あの世界的に有名な青島ビールの製造工程見学だけではなく、できたてのビールを2杯まで試飲することもできます。ご存知かもしれませんが、ビニール袋で生ビールを買うのが青島の夏の風物詩です。

豊かな自然に美しい建造物、青島ビールと会津の日本酒、青島の海の幸と会津の山の幸… 違うようで似ている、そんな青島と会津がぼんやり重なる時があります。そのうち、青島も第二の故郷になれる気がします。機会があればぜひ青島に遊びに来てみてくださいね、待っています。



夏の週末には開放ビーチ一面にテントが張られます。私たち夫婦も小さめのテントを購入しようかと真剣に考えています。

同期の隊員達とモンゴル語学習中。
左端が荒川さん。Arakawa Yoshie
荒川 芳恵さん

はじめまして！荒川芳恵と申します。協会には日本語ボランティアやイベント等でお世話になりました。今、JICAの青年海外協力隊で活動できるのも、これらの経験があったからだ、とても感謝しています。

協力隊には、青少年活動という職種で派遣されています。協力隊というと看護師や学校の先生などを思い浮かべる方も多いと思いますが、資格がなくても応募できる職種があり、青少年活動もその一つです。家庭や学校教育では対応が難しい子どもや若者が活動の対象で、青少年のためのイベントを企画・実施したり、併設する日本語教室での授業補助や文化紹介を行います。

私は昨年12月にモンゴルに派遣されたのですが、このたびのコロナウイルスの影響により一時帰国となりました。医療体制が整っていない国も多く、隊員の安全が確保できないからです。全世界70か国以上に派遣されているJICA海外協力隊の、全隊員約1800人も、皆一時帰国をし、現在、日本で待機している状態です。

帰国当初は「もうモンゴルで活動できないかもしれない」と思うと、気持ちが減入り、何も手につかないこともありましたが、でも今は、同期の隊員たちとオンラインでモンゴル語の学習をし、互いに励まし合っています。

モンゴルでは早くから行動の自粛が始まったので、実際に活動ができたのはごくわずかでしたが、その間に忘れられない出来事がありました。それは地方に出張に行った時のことでした。両親が不在で子どもだけで暮らす家庭がある事や、親が飲酒問題を抱えていて家に帰りたくない子どもの話を聞きました。複雑な事情が背景にある辛い現実を垣間見て、この子どもたちのために何かしたいと思いましたが、何もできませんでした。

だから私は、今回の一時帰国をチャンスと捉え、今できることを積極的に行うことで、モンゴルに戻った時にあの子たちのために少しでも役に立てるように、頑張りたいと思います。

当協会ではFM会津(76.2MHz)のコーナー「地球まるっとテレポート」を担当しています。6月10日(水)からは5週にわたり、荒川さんがゲストです。時間：18:30～18:40 ※変更の場合あり

“もしもし日本語ほっとライン”好スタート！

5月27日(水)に、オンライン日本語支援、“もしもし日本語ほっとライン”がスタートしました。午前に2組、午後に2組の日本語ボランティアと学習者がオンラインでつながりました。「こんにちほ～！」「はじめまして！」から始まる30分間、学習者の質問に、ボランティアが丁寧にこたえます。「そろそろ終了です」とスタッフが声をかけるまで、学習者の質問は途切れることなく続きました。

午後には福島民友新聞社とNHK福島放送局の取材を受け、当日の「はまなかあいつ」で取り組みの様子が放映されました。スタッフが録画した動画を協会のfacebookにてご紹介しますので、ぜひ、ご覧ください。

メーリングリストで情報共有！語学ボランティアのスキルアップ術

語学ボランティアはメーリングリストを活用して情報交換＆スキルアップを行っています。ガイド時のあるあるや聞きたい質問を、メーリングリストを通して共有します。互いに高め合おうとする心意気が伝わってきます。

JICA派遣
一時帰国中の今だから

2019年度JICA青年海外協力隊員として、昨年12月に大きな志を抱いてモンゴルに発った荒川さん。しかしコロナウイルスの影響で、活動3カ月で一時帰国となりました。どんなに悔しいことでしょう。しかし荒川さんは負けません。協会の広報ボランティアとして、オンライン日本語支援チームのメンバーとして、新たな挑戦を続けます。この逆境にも強く、しなやかに立ち向かう荒川さんの姿は、時折とても頼もしく見えるのです。

できることをすべてやり
再びモンゴルに戻れる日を待つ首都ウランバートル。高層ビル
が建ち並び、あちこちで交通渋
滞が起きている。任地ゾーンモドの郊外。馬や牛
が道路を歩き、民族衣装を着た
人にも出会える。こんにちほ
事務局です